

蕨マルシェ

【団体名】蕨マルシェ実行委員会
【担当部署】市民生活部 商工観光課
【提案型】自由テーマ

1. 事業の目的

- 個人で活動している女性たちが、それぞれのスキルを持ち寄ることで大きな発信力を持ち、新たな仕事を生み出す。
- オンラインイベントと、リアルイベントを掛け合わせたハイブリットなイベントを確立させ、市内のクリエイターや個人商店の活動をサポートする。

2. 実施内容

- ・蕨マルシェ THE STORE ツユノハレマ 2023 の開催

日 時：2023 年 6 月 17 日 (土)

会 場：蕨市内各所

内 容：飲食・物販・ワークショップ等

- ・アートむすび市in蕨の開催

日 時：2023 年 11 月 18 日 (土)

会 場：蕨市北町コミュニティセンター前広場・北町公園

参加者：延べ 1,000 人

内 容：飲食・物販・ワークショップ・音楽ステージ等、各種イベントブースの出店

- ・蕨マルシェ THE STORE 春よ来い 2024 の開催

日 時：2024 年 3 月 16 日 (土)

会 場：蕨市役所 駐車スペース

参加者：延べ 1,000 人

内 容：飲食・物販・ワークショップ等、各種イベントブースの出店

▼開会の様子



3. 役割分担

団体：イベント運営、広報活動に関すること

市：広報活動、市の施設や備品の貸出に関すること

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 426,508 円（うち蕨市協働事業補助金 155,758 円）

(2) 支出の主な内容

印刷製本費（ちらし作成、垂れ幕の作成）、使用料（ピアノ借り上げ料） 等

5. 協働による効果

出店者同士が事業を通じ、つながることで、新しいビジネスチャンスのきっかけを創出することができた。また、事業の集客力が回を重ねるごとに向上しているため、地域のにぎわいの創出にもつながった。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

会場を市役所にし、庁舎を囲んだブースの配置にしたことで回遊性が高まり満遍なくお店を見てもらうことができた。市役所での開催は庁舎周辺に人の動きが出るので、定期的な開催は地域の活性化につながるのではないかと感じた。

【担当課より】

回を重ねるごとに、実行委員会側でのイベントの周知や運営が徹底されていて、市の負担が少なくなっていることを実感できる。また、来場者の満足度と反響が高く、地域の活性化につながっていると感じた。